

**建設
技術
フォーラム
2024inちゅうごく**
募集要項

日時：2024年10月30日（水）・31日（木）

会場：メイン会場　：広島産業会館東展示館（広島市南区）

特設会場　　：中国技術事務所（広島市安芸区）

オンライン会場

基調講演会場：南区民文化センター2階ホール

主催：建設技術フォーラム実行委員会

| | |
|--------------|-----|
| 0. 全体概要 | P3 |
| 1. スケジュール | P6 |
| 2. 出展申込及び費用等 | P7 |
| 3. メイン会場 | P9 |
| 4. 特設会場 | P13 |
| 5. オンライン会場 | P14 |
| 6. セミナー | P16 |
| 7. 基調講演 | P17 |
| 8. 学生交流広場 | P17 |

0. 全体概要

・名 称 建設技術フォーラム 2024in ちゅうごく

・主 催 建設技術フォーラム実行委員会

(民間28) ※予定

(一社) 建設コンサルタンツ協会中国支部、(一社) 建設電気技術協会中国支部、
(一社) 全国コンクリート製品協会中国支部・中国コンクリート製品協会、
(一社) 全国道路標識・標示業協会中国支部、(一社) 地下貯水工法協会、
(一社) 中国建設弘済会、(一社) 日本埋立浚渫協会中国支部、
(一社) 日本橋梁建設協会、(一社) 日本グラウト協会中国支部、
(一社) 日本建設機械施工協会中国支部、(一社) 日本建設業連合会中国支部、
(一社) 日本造園建設業協会中国総支部、(一社) 日本電設工業協会中国支部、
(一社) 日本道路建設業協会中国支部、(一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会
中国支部、(一社) リペア会、(公社) 全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部、
(公社) 土木学会中国支部、(公社) 日本測量協会中国支部、(一財) 橋梁調査会、
(一財) 日本建設情報総合センター中国地方センター、K J S協会、P Cフレーム協会中国
支部、西日本高速道路(株)中国支社、本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター、
(株)建設通信新聞社中国支局、(株)中建日報社、(株)日刊建設工業新聞社中国総局
(大学7)

国立大学法人鳥取大学、国立大学法人島根大学、国立大学法人岡山大学、
国立大学法人広島大学、国立大学法人山口大学、学校法人加計学園岡山理科大学、
学校法人鶴学園広島工業大学

(行政機関10)

国土交通省中国地方整備局、国土交通省国土地理院中国地方測量部、鳥取県、島根県、岡山
県、広島県、山口県、広島市、岡山市、広島高速道路公社

・日 時 2024年10月30日(水)

開会セレモニー 9:45~10:00

展示会ほか 10:00~16:30

2024年10月31日(木)

展示会ほか 9:30~15:30

閉会 15:30~撤去

・会 場

○メ イン会場：広島産業会館東展示館（広島市南区比治山本町）

○特 設 会 場：中国地方整備局中国技術事務所（広島市安芸区船越）

○オンライン会場

○基調講演会場：南区民文化センター2階ホール（550席）

Zoom 併用

- ・建設フォーラム実行委員会ウェブページ開設（以下ウェブページと表記）
 - 出展募集開始の令和6年5月14日から令和7年3月末まで開設
 - オンライン会場として使用
 - セミナー動画の閲覧
- 参考 令和5年度のウェブページ



- ・問合せ先
 - ①建設技術フォーラム全般に関する内容
 - 「建設技術フォーラム実行委員会」事務局
 - 国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課
 - 課長補佐 武田（たけだ）・専門調査官 松元（まつもと）
 - TEL:082-221-9231（代表） FAX:082-227-5222
 - ②展示会場・展示ブース等展示、セミナー、出展申込、設営等に関する内容
 - 「建設技術フォーラム実行委員会」企画・運営補助
 - 株式会社広宣（こうせん）
 - 森島 一郎
 - TEL:082-221-8554 FAX:082-228-6044
 - 携帯:090-4657-8263
 - Email:morishima@kosen-ad.co.jp

【注意事項】

メイン会場に加え特設会場（中国技術事務所）の2会場で開催します。

特設会場では、遠隔操縦バックホウやロボ Qs の実機デモンストレーションや、国土交通省が取り組んでいるインフラDXコンテンツの紹介・体験等を予定しています。

事務局として、参加企業による屋外での建設技術の紹介（ICT建機やUAV等）を実施したいと考えていますのでぜひ出展をご検討下さい。

出展申込につきましては、当要項をご確認いただきお間違えないよう申込みをお願いいたします。

1. スケジュール

募集要項メール送信
令和6年4月下旬～5月上旬

出展者募集

申込期間
5月14日～6月29日

出展者締切

8月
ブースの割り振り
会場設営準備時間等

メイン会場出展者説明会

9月20日まで

出展料納付期限

10月30・31日

10月29日 出展者現地設営

フォーラム開催

10月31日 15:30 撤去

11月

追加備品利用請求等

※該当者のみ

令和7年3月末

ウェブページ閉鎖

アクセス数を出展者に報告

2. 出展申込及び費用等

□出展料金

| 展示場所 | 出展料（税込） | 内容 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① メイン会場 （広島産業会館東館） 特設会場 （中国技術事務所）</p> <p>（例） メイン会場に1ブース、特設会場に 1ブース出展する場合の出展料は、 280,000円となります。</p> | <p>メイン会場 150,000円 （1ブース） 特設会場 130,000円 （1ブース） ※オンライン会場 の出展は無料</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・展示ブースの仕様、基本備品等については、P9～P11を参照して下さい。 ・基本備品以外の備品等の利用があった場合は追加で利用料金が発生します。 ・オンライン会場の出展料は無料です。オンライン会場も合わせてご検討下さい。なお、オンライン出展を行わない場合でも、料金は変わりません。 ・出展者情報はウェブページに掲載いたします。 ・下記②特設会場のみ出展も可能です。 |
| <p>② オンライン会場</p> | <p>50,000円</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・メイン会場の展示を行わず、ウェブページ上のみで展示。写真、動画、技術資料等を掲載して頂きます。 ・ウェブページは令和7年3月末まで公開。各ページの閲覧者数をお知らせします。 |
| <p>③ セミナー</p> | <p>20,000円 ※R5実績 1社25分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・詳細な技術情報やPR等の展示を、写真、動画、技術資料により説明して頂くものです。 ・メイン会場内ステージでご発表いただきます。 ※セミナーは後日配信 ・セミナー動画は、後日ウェブページにて令和7年3月末まで公開します。 |
| <p>④ 学生交流広場</p> | <p>20,000円 ※R5実績 1回15分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中国管内の技術系学校の学生とメイン会場又はZOOMで交流して頂くものです。建設業界の魅力、所有する技術情報のPRを行って頂く場となります。 ・学校の参加状況を確認後、メイン会場等の出展者の方に参加の意向確認を行います。 |

※参加状況等により追加徴収させていただく場合があります。

- ・ 複数 ブースを利用して出展される場合は、「必要ブース数×出展料」となります。
- ・ ①における参加の詳細内容は、8月の出展者説明会時に配布、欠席される方には郵送します。
- ・ ①②にお申込みいただいた方には、オンライン展示の詳細（展示データ作成について）を実行委員会所属協会から送信又は建設技術フォーラム 2024 ホームページよりダウンロードしていただきます。
- ・ ③④の動画を送信頂いた方は、出展者の了承を得たものとして、ウェブページに掲載します。（提出順）
- ・ ④の参加については、①又は②の参加が条件となります。（④のみの参加は不可）
また、希望者多数の場合で、開催所定時間等により希望者全社の参加が困難な場合は、抽選により参加者の調整を行います。学校の参加状況を確認後、メイン会場等の出展者の方に参加の意向確認を行います。
- ・ 出展申込後のキャンセルについて、出展者都合による出展取り止めの際は、下記のとおりキャンセル料を頂きます。
 - 9月1日（金）から9月30日（土）まで：出展料の半額
 - 10月1日（土）以降：出展料の全額
- ・ 天災、悪天候などを要因とするその他不可抗力により、本フォーラムの開催が困難と判断した場合、主催者事務局は開催を延期または中止することがあります。その場合の中止によって生じた損害について主催者事務局はいかなる賠償責任を負いません。

□募集件数（予定）

- ・ メイン会場 80ブース（予定）
※最大3ブースまで申込可能
- ・ 特設会場 10ブース（予定）
- ・ オンライン会場 10枠（予定）
※最大2枠まで申込可能

※申込み期間内でも定数に達し次第、募集を締め切る場合があります。

□申込方法

申込み期間 . . . 令和6年5月14日（月）～6月29日（金）17時まで

申込み方法 . . . ウェブページから申込用紙をダウンロードして必要事項を記入していただき、実行委員会構成メンバーの協会に所属している社は協会宛に。それ以外の社は下記の申込み先にメールに申込書を添付・送信お願いします。

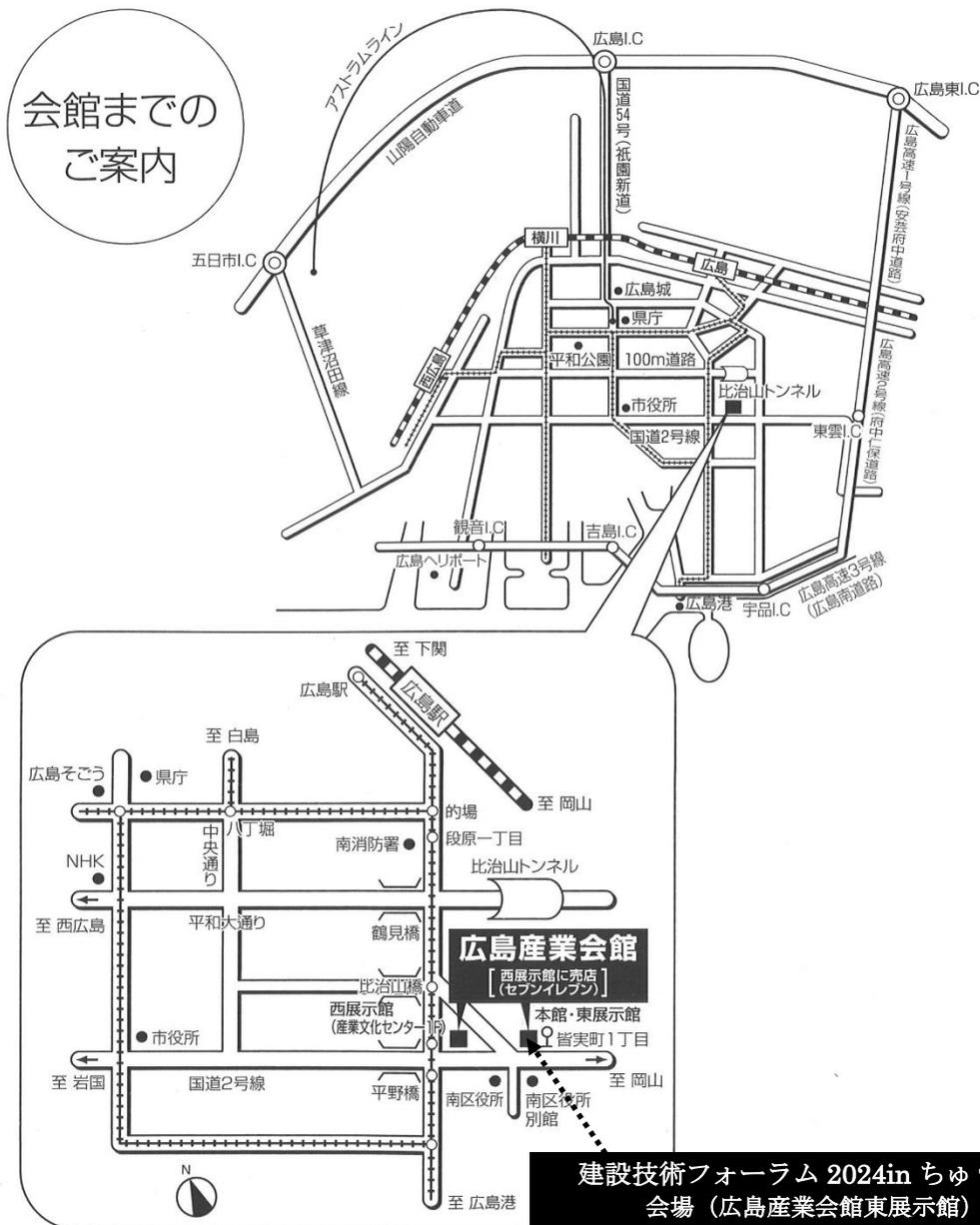
申込み宛て先 . . 「建設技術フォーラム実行委員会」事務局

中国地方整備局 技術管理課 専門調査官 松元

Email: matsumoto-s87bd@mlit.go.jp

3. メイン会場

□広島産業会館へのアクセス



●アクセス

広島空港より

- ・JR広島駅行きリムジンバス乗車(広島駅までの所要時間約45分)

JR広島駅より

- ・路面電車5番の広島港行き乗車、南区役所前下車(所要時間約10分)、徒歩1分
- ・タクシー(所要時間約9分)

広島バスセンターより

- ・県庁前から7番(市役所前経由)又は23番(八丁堀経由)の大学病院方面行きバス乗車、皆実町1丁目(南区役所前)下車すぐ(所要時間約15分)
- ・タクシー(所要時間約11分)

広島港より

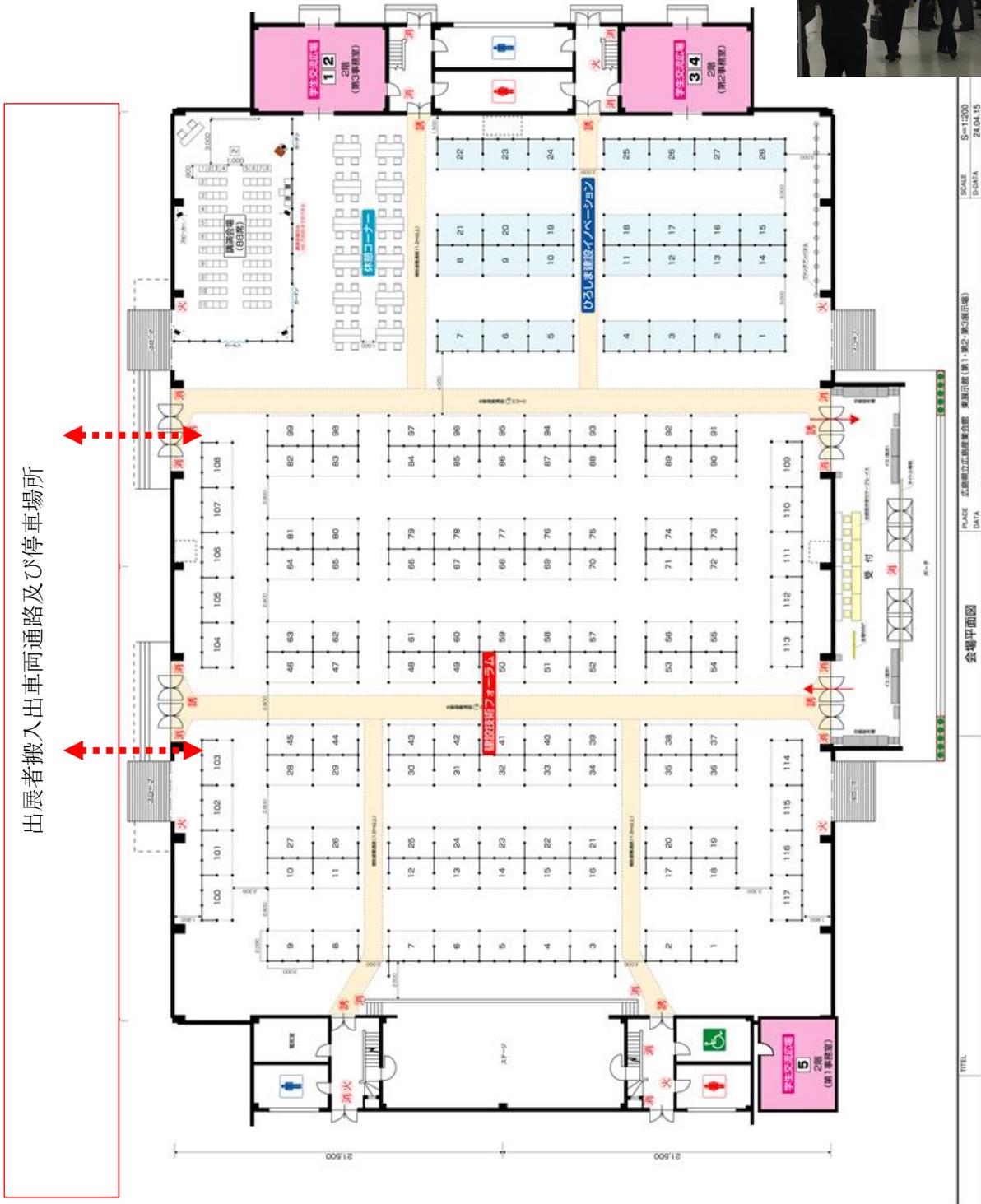
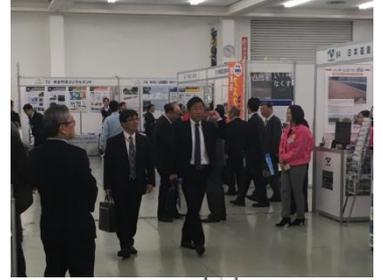
- ・路面電車5番のJR広島駅行き乗車、南区役所前下車(所要時間約21分)、徒歩1分
- ・タクシー(所要時間約15分)

(注意) 岡山方面から車で国道2号線を来られる場合、南区役所前手前信号は右折禁止です。路面電車通りを右折してください。

□メイン会場 ブース配置案

出展者を80ブースと想定。下記の配置となります。(協会ごとに配置。)

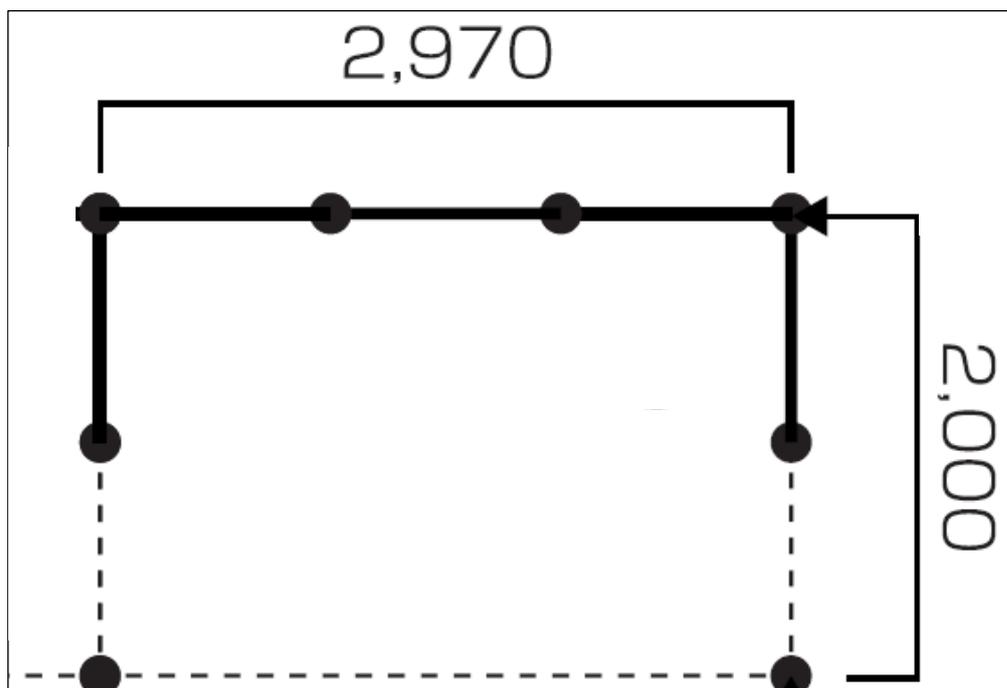
(※出展者数に応じ、ブースの削減や商談・休憩スペースを設ける等今後調整します。)



国道2号側

□展示ブースの仕様

(mm)



※2 つめのテーブルは
追加備品 (別途有料) →

↑ 標準備品

<基本設備>

- ・テーブル (幅 1800mm×奥行き 450mm×高さ 700mm : 白布 1 枚付き) 1 台
- ・パイプ椅子 2 脚
- ・基本電源 (100v・15A) コンセント 1 つ
- ・社名等看板 (横 1500mm×縦 200mm) 1 枚
- ・展示用チェーンフック 2 本

- ※ その他追加備品（有料）、注意事項等は、8月の出展者説明会でお知らせします。
- ※ 側面の2mのうち、前側左右1mの横壁はありません。1ブースの構成は、コの字型にシステムパネル5面です。1ブースで展示スペースが足りない場合は複数ブースお申込みも可能です。（1者3ブースまで）

フレーム：アルミ
パネル：ポリ合板（白）



※パネル面への釘・押しピン等の使用はできません。
軽量の写真・ポスター・パネル等はテープ類（テープ・両面テープ・マジックテープ等。但し粘着性の強いものは不可）で、
重量のポスターフレーム・額縁等はチェーンフックでの展示となります。

■システムパネル



4. 特設会場

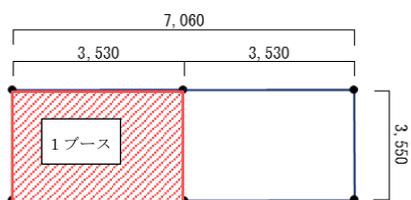
1. 参加企業による屋外を活かした建設技術の紹介（ICT建機やUAV等）も実施したいと考えております。場所に限りがあり、抽選となる場合もありますので御了承願います。

5月14日からウェブページでの募集を行います。

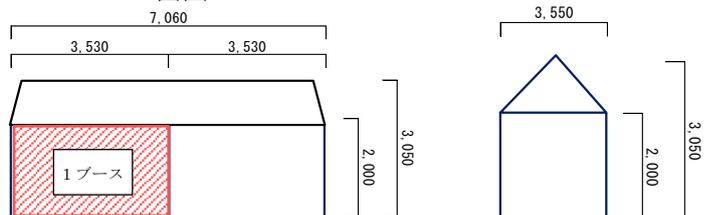
2. 開催2日間は産業会館とシャトルバス（中型バス）が往復します。
3. 特設会場への参加企業にはテント、テーブル×1、イス×2、電源、展示ボード×4などの物品を出展料に含みますが、ICT建機などの運搬、人件費等は参加企業にてご負担いただきます。



■テント仕様



■正面図



□特設会場（中国技術事務所）へのアクセス

2 交通手段案内図（広島駅・広島バスセンター）



交通手段について

- ①バスによる方法：広島駅又は広島バスセンター（そごう本館3階）発
- ②JR（電車：在来線）による方法：広島駅 発
- ③シャトルバス（メイン会場～フィールド会場間）

5. オンライン会場

1. ウェブページに写真、動画、技術資料等を掲載し、令和7年3月末まで公開します。
ページの閲覧者数は後日お知らせします。

2. 出展申込手順

出展希望者はウェブページから事務局に申込をお願いします。事務局から要領（長さ、サイズ、容量、ファイル形式等、データ提出方法等）をメールします。要領に基づき出展者は必要な資料、データを事務局に提出して下さい。事務局がページを作成、ウェブページに掲載します。

トップ > 技術展示

技術展示

※出展者名をクリックすると建設技術のページが開きます。

| No | 機関(協会) | 出展者名 |
|----|-----------------------|-------------------------------|
| 1 | (一社) 建設コンサルタンツ協会 中国支部 | 企業名をクリックすると オンライン出展を表示します。 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | 中国コンクリート製品協会 | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | (一社) 地下貯水工法協会 | |
| 11 | (一社) 日本埋立渡瀬協会 中国支部 | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |
| 16 | | |
| 17 | | |
| 18 | (一社) 日本橋梁建設協会 中国事務所 | |
| 19 | | |

(参考) 令和5年度のウェブページ

6. セミナー

□セミナーの実施

セミナーはメイン会場で行います。セミナーの様子を事務局が撮影しウェブページに動画をアップします。令和5年度は11月～3月末で、2,700回のアクセスがありました。

トップ > セミナー発表

セミナー一覧

※会社名をクリックするとセミナーページが開きます。

| No | 機関(協会) | 会社名 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | (一社) 建設コンサルタンツ協会 中国支部 | |
| 2 | | |
| 3 | 中国コンクリート製品協会 | |
| 4 | (一社) 日本橋梁建設協会 中国事務所 | |
| 5 | (一社) 日本建設機械施工協会 中国支部 | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | (一社) 日本建設業連合会 中国支部 | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | (一財) 日本建設情報総合センター | |

トップ > セミナー発表 > 中電技術コンサルタント(株)

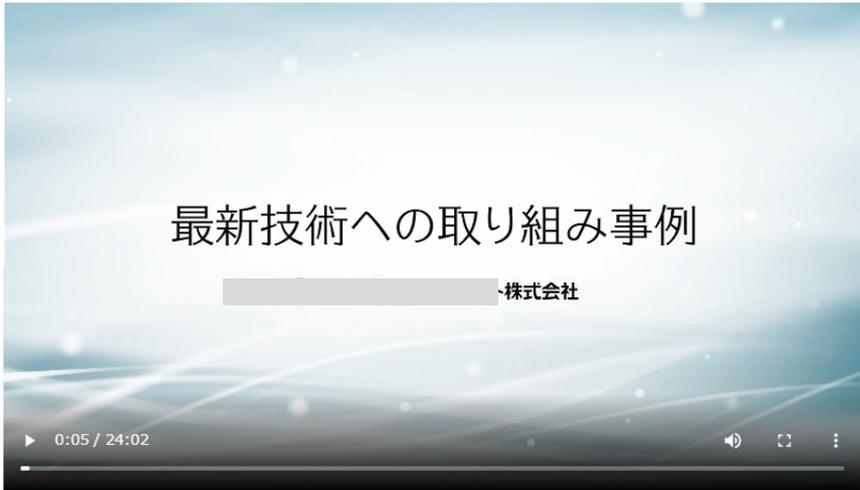
| | | |
|---|-----------------------|--|
| 1 | (一社) 建設コンサルタンツ協会 中国支部 | |
|---|-----------------------|--|

○発表テーマ・担当者

UAVによる桜島活火山調査や維持管理、防災減災、ICT・AIに関する新技術のご紹介

| | | | |
|----------|--|-------|--|
| 担当部署 | | 担当者 | |
| 電話番号 | | FAX番号 | |
| Eメールアドレス | | | |
| 公式サイトURL | | | |

○セミナー動画



最新技術への取り組み事例

株式会社

0:05 / 24:02

(参考) 令和5年度のセミナートップページ

7. 基調講演

□基調講演

10月30日に基調講演（講演者等は今後調整）を予定しています。南区民文化センター2階ホールでの講演とZOOMウェビナーを使用します。（CPD・CPDSの発行）

※ ZOOMにて視聴された方がCPD・CPDSを取得するには画像確認が必要となりますので、カメラ付きのもので視聴をお願いいたします。

（参考）2023年基調講演（オンライン）

建設産業の状況 国土交通省

- ✓ 「屋外での作業、一品生産」という建設業の特性を踏まえ、建設現場の生産性向上は、一朝一夕には難しい
- ✓ しかしながら、建設業は災害対応などを担う不可欠な産業であり、官民一体となってインフラ分野のDXを進める必要
- ✓ それにより、建設業の適切な発展を図るとともに、維持管理や災害対応の確実な実施により国民の安全安心にも貢献

ICT化が難しい産業 【建設業】 【製造業】

屋外での作業、一品生産 ↔ 屋内での作業、大量生産

労働生産性の比較(2019年)

| 産業 | 労働生産性 (円/人・時) |
|-----|---------------|
| 建設業 | 2,875 |
| 製造業 | 5,788 |
| 全産業 | 4,952 |

建設業の置かれた課題

- 将来の人手不足への対応
生産年齢人口の減少
2010年8,173万人 → 2050年5,275万人 (-30%)
- ・ 顕著する災害への対応が困難
洪水リスク高い地域内の高齢者世帯
2010年448万世帯 → 2050年680万世帯 (+52%)
- ・ 老朽化する大量インフラ補修が困難
50年以上経過の道路橋
2018年25% → 2033年43% (+38%)

8

国土交通省 大臣官房参事官(イノベーション) 森下 博之氏

8. 学生交流広場

□学生交流広場

学生と企業を密接につなぐため、学校の参加時間に合わせたプログラムを作成し、メイン会場又はオンラインで実施します。

学校と調整（参加人数、参加時間等）を行ったのち、出展者のメールに参加募集を行います（令和6年7月中旬）

●2023年学生交流広場（メイン会場）

